

## 7月23日：ベトナム株は終日軟調に推移し反落

週末のベトナム株は国内投資家の売りに押され、軟調な展開となった。

外国人投資家も前日同様、売り越した。

ホーチミン市場のVN指数は1.92%（24.84ポイント）安の1,268.83ポイントだった。同指数は木曜日に回復した上昇分を全て失った。

値下がり銘柄数が値上がり銘柄数を上回り、282銘柄が下落、97銘柄が上昇、38銘柄は変わらずだった。

一方で出来高は増加し、売買高は約5億8,230万株で、売買代金は19兆3,000億ドン（8億3,940万米ドル）を超えた。

全セクターの大型株への激しい銘柄選別を受け、同指数は大幅安となった。

VN30指数は1.89%（26.95ポイント）安の1,401.53ポイントだった。同指数採用銘柄のうち、26銘柄が下落、4銘柄のみ上昇した。

下落はサイゴンハノイ証券のアナリストの予想に反したものだった。

同証券会社のデイリーレポートでは「マーケットは引き続き回復し、心理的そして重要な上値抵抗線である1,300ポイント付近を目指すだろう」と予想していた。

銀行、不動産、素材セクターといった人気業種の銘柄は引き続きマーケットの下落を主導した。その中でも3.29%下げたベトコムバンク（VCB）は値下がり寄与度トップとなり、3.06%安だったビンホームズ（VHM）がそれに続いた。

ビンググループ（VIC）、ホアファットグループ（HPG）、テクコムバンク（TCB）、VPバンク（VPB）、ヴィエティンバンク（CTG）、マサングループ（MSN）はそれぞれ少なくとも2%下落した。

ベトナムゴム工業グループ（GVR）、ベトナム投資開発銀行（BID）、ペトロベトナムガス（GAS）、ノバランド不動産投資グループ（NVL）といった大型株の多くも1%を超える下げとなった。

しかし、一部の銘柄には引き続き買いが入った。値上がり寄与度トップはビナミルクで0.92%上昇した。サコムバンク (STB)、ドゥックザン化学 (DGC)、FPTグループ (FPT) はそれに続き、中でも DGC は7%を超えるストップ高をつけた。

ハノイ市場の HNX 指数も 1.37%安の 301.77 ポイントとなった。

売買高は 1 億 150 万株を超え、売買代金は約 2 兆 2,800 億ドンとなった。

一方で外国人投資家は前日に続き 1,724 億 6,000 万ドンをマーケットで売り越した。

そのうちホーチミン市場で 2,041 億 6,000 万ドンを売り越し、ハノイ市場では 141 億 8,000 万ドンを買い越した。

---

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。